

デジタル映画の保存と活用に関する技術セミナー(2017年度)
セミナー2:映画関連資料のデジタル化に関するセミナー
事例紹介:『資料デジタル化の事例～松竹大谷図書館～』

公益財団法人松竹大谷図書館 武藤祥子



■ 日程:2018年2月27日(火)

■ 場所:東京国立近代美術館フィルムセンター小ホール

■クラウドファンディング実行のきっかけ

松竹大谷図書館は収入のほとんどを松竹及び松竹グループからの寄附金に頼っている点、図書館事業以外に収益事業を持たないので、毎年赤字決算になりがちな点等が公益財団法人への移行時、課題として指摘されていた

⇒少しでも収入を増やし運営を安定させるため、クラウドファンディングを利用し寄附金を広く募った

■資料デジタル化のきっかけ

クラウドファンディングプロジェクトに成功。演劇と映画の専門図書館としての貴重な資料を保存する図書館の活動に対して、支援者に共感を頂いた

⇒貴重な所蔵資料の保存やデジタル化にも、共感してもらえるのでは？

2回目より、所蔵資料のデジタル化資金についても支援を募集

⇒プロジェクトに成功し、資料のデジタル化を推進

■ デジタル化対象資料の選定ポイント

■ 利用ニーズが高く、劣化の激しい資料、大型資料等の閲覧や取り扱いが難しい資料

⇒ デジタル化による利便性や、保存性、活用の活性化が期待される

■ 支援金として募集可能な費用内でデジタル化を完了できるボリュームの資料である

⇒ デジタル化の費用をクラウドファンディングで募集する支援金に、ほぼ100%頼っているため

■ Web上で画像等が公開可能な資料である

⇒ デジタル化の過程や成果をWeb上で支援者に随時報告する必要があるため

■クラウドファンディングにおけるデジタル化のポイント

- デジタル化を行う資料の魅力や貴重性を伝え、共感・共有してもらう
- デジタル化によるメリットを、共感・共有してもらう
- デジタル化の過程や成果をクラウドファンディング支援者に随時報告
- プロジェクトの広報やアーカイブ公開によって、資料の価値や魅力を広く一般に伝え、活用を促進する

クラウドファンディングによる資料のデジタル化事例 『蒲田週報』のデジタル化

『蒲田週報』

蒲田撮影所で大正14年から昭和6年まで毎週発行
されていた二つ折りリーフレットの逐次刊行物



クラウドファンディングによる資料のデジタル化事例 『蒲田週報』のデジタル化

クラウドファンディング第2弾プロジェクトの支援金により
合本解体・修復、デジタルスキャニング、マイクロフィルム化

<https://readyfor.jp/projects/ootanitoshokan2>



解体・修復前の経年劣化が進んだ『蒲田週報』

クラウドファンディングによる資料のデジタル化事例 『蒲田週報』のデジタル化

クラウドファンディング第2弾プロジェクトの支援金により
合本解体・修復、デジタルスキャニング、マイクロフィルム化
<https://readyfor.jp/projects/ootanitoshokan2>



(有)紙資料修復工房による 解体・修復作業

クラウドファンディングによる資料のデジタル化事例 『蒲田週報』のデジタル化

クラウドファンディング第2弾プロジェクトの支援金により
合本解体・修復、デジタルスキャニング、マイクロフィルム化
<https://readyfor.jp/projects/ootanitoshokan2>



寺田倉庫株式会社による スキャニング・ファイル名付与作業

クラウドファンディングによる資料のデジタル化事例 『蒲田週報』のデジタル化

クラウドファンディング第2弾プロジェクトの支援金により
合本解体・修復、デジタルスキャニング、マイクロフィルム化
<https://readyfor.jp/projects/ootanitoshokan2>



修復後の『蒲田週報』と画像の閲覧(予約制)

クラウドファンディングによる資料のデジタル化事例 『蒲田週報』のデジタル化

■ デジタル化の過程を報告

貴重な資料である事を説明したレポートや、研究者、修復・デジタル化の専門業者へレポートを依頼し、プロジェクトの新着情報に掲載

- 『蒲田週報』の貴重性と、補修・デジタル化の意義についての[レポート](#)
- デジタル化の意義と、今後の活用への期待についての[研究者レポート](#)
- [解体・補修](#)作業についての専門業者レポート
- [スキヤニング、ファイル名付与、マイクロ化](#)についての専門業者レポート

クラウドファンディングによる資料のデジタル化事例

「芝居番付」のデジタル化

「芝居番付」

江戸時代から戦前にかけての興行資料で、芝居の演目、配役、場面の挿絵などが描かれた、現在の演劇ポスターやチラシのような印刷物



クラウドファンディングによる資料のデジタル化事例 「芝居番付」のデジタル化

クラウドファンディング第3弾プロジェクトの支援金により
簡易補修、デジタル化及びアーカイブのWeb公開
<https://readyfor.jp/projects/ootanitoshokan3>



打ち合わせ作業



梱包作業

1

2

クラウドファンディングによる資料のデジタル化事例 「芝居番付」のデジタル化

クラウドファンディング第3弾プロジェクトの支援金により
簡易補修、デジタル化及びアーカイブのWeb公開

<https://readyfor.jp/projects/ootanitoshokan3>



配送作業



立命館大学ARCへの搬入作業

クラウドファンディングによる資料のデジタル化事例 「芝居番付」のデジタル化

クラウドファンディング第3弾プロジェクトの支援金により
簡易補修、デジタル化及びアーカイブのWeb公開

<https://readyfor.jp/projects/ootanitoshokan3>



1
4

立命館大学ARCによるしわ伸ばし・デジタル撮影作業

クラウドファンディングによる資料のデジタル化事例 「芝居番付」のデジタル化

■「芝居番付」のメタデータ

データベースを管理者のみに限定Web公開し、画像の情報からメタデータの入力をWeb上のデータベースの書誌画面で行った



メタデータ入力作業

デジタル画像を用いたメタデータの入力

立命館大学 A R C 文部科学省 共同利用・共同研究拠点
「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」

■メタデータの基礎となる演劇上演記録データベース

演劇資料のメタデータでは「〇年〇月〇〇劇場上演」という上演に関する情報が非常に重要

■立命館大学 A R C 文部科学省 共同利用・共同研究拠点

松竹大谷図書館は2014年度より同拠点の共同研究課題として採択され、研究費を配分して頂き、演劇資料のメタデータの基礎となる、演劇上演記録DBのデータ考証を行っている

⇒共同研究の研究成果である演劇上演記録DBを活用、デジタル化資料のメタデータの充実を図る事が出来た

クラウドファンディングによる資料のデジタル化事例 「芝居番付」のデジタル化

■ デジタル化の過程を報告

知名度が低い資料についての説明や、研究者のコメントをプロジェクトページへ掲載。梱包・配送作業から簡易補修・デジタル撮影・データ入力等随時作業レポートを掲載し、支援者にも資料のデジタル化に伴う様々な作業について、Web上で体感してもらえるようにした。

- 研究者コメントをプロジェクトページに[掲載](#)

- 「芝居番付」の魅力と資料的価値についての[レポート](#)

- [打ち合わせ](#)、[梱包](#)、[配送](#)、[搬入](#)についての作業レポート

- [簡易補修](#)、[撮影](#)、[データ入力](#)、[返送](#)、[搬入](#)についての作業レポート

- 1 ■ [アーカイブ公開](#)・[追加公開](#)・[全データ公開](#)についての作業レポート

クラウドファンディングによる資料のデジタル化事例 「芝居番付」のデジタル化

デジタルアーカイブの公開と運用

立命館大学アート・リサーチセンター への委託研究

- 教育研究機関である大学の研究の一環としてデジタル化業務を受託
- デジタル撮影やデータベース構築等の技術レベルが非常に高い
- 文化資源のアーカイブ公開を研究課題としているため、Web公開と運用まで一貫して依頼可能
- 研究の一環としてデジタル化費用の圧縮にも取り組んでいるため、費用が抑えられる

松竹大谷図書館は豊富な所蔵資料があるものの、
費用も人材も技術も持ち合わせない

「芝居番付」のデジタル化

- 費用 ⇒ クラウドファンディングにより募集
- デジタル化 ⇒ 立命館大学ARCへ委託
- アーカイブ構築 ⇒ 当館と立命館大学ARCとの共同研究において、
整備した演劇上演記録データベースの情報を用いてメタデータを作成
- アーカイブのWeb公開及び運用 ⇒ 立命館大学ARCへ委託



資金・人材・技術の乏しい当館でも、
アーカイブのWeb公開まで進める事が可能となった